

令和八年春彼岸法要の御案内

拝啓

春寒の砌、いかがお過ごしでしょうか。
早速ですが、来たる三月二十日（金・祝）
春彼岸法要を厳修いたします。

此岸から彼岸へ。入りから明けまでの一週
間、煩惱に満ちた現世（此岸）に居ながらに
して、迷いや悩みを滅し悟りの境地（彼岸）
を目指し、心身共に行をさせていただきま
しょう。

身と口と心で造る諸々の行いを自戒し、
思いやりの心、言葉そして佛の智慧、理で人
や事に向き合うよう心がけたいものです。
その姿をご先祖様方は観ていてくださる。

いずれ逝く道。

春彼岸をご縁に善行に励み、自らが積
んだその功德をご先祖様方へと手向けさ
せていただく御回向でございます。

特に春彼岸のお中日は「自然を讃え、生物
を慈しむ日」春分の日として国民の休日に
制定されています。

自然の一部の我々。すべてに感謝、慈し
み、少欲知足を心がけ、家内円満にてお過
ごしく下さい。

“積善の家に余慶あり”

ここに春彼岸法要の御案内を申し上げます。

合掌

※御供物は三月十七日迄着にてお取りはからいくださいませ。

令和八年二月吉日

真伝不動明王寺